
第一話
僕の幼なじみが大妖怪で転校生が銀河
アイドルな件



GM こんばんわー。今日は皆さんよろしくお願ひします。

ゼーダ meiy でGMに設定していただいたゼーダの「過去」の設定ですが、「ガールライル残党狩りをしているインファルト王族に撃墜されたのか、ライバルのアイドル艦隊に撃墜されたのか」とありますので、両方取り込んでしまうのもありではないかと思ひました。

GM ふむむ。ライバルの設定はシナリオに関係してくるので、今回は伏せておきますね。

ひづみ ひづみのイメージを落書きしたんですけど、ここには貼れないのかな。

GM お！それは見たいですねえ。アイコン用画像としてアップロードできるんじゃないかな

ひづみの画像がアップロードされ、立ち絵として指定された。

GM ひづみキター！

オポロ かわいい。

ゼーダ カチューシャの付け根に怪しい物体が（笑）

ひづみ はい、カチューシャの付け根は一応、タコの目が付いてます。

GM やはり邪神的な何かが！（クトゥルフ検定3級合格GM）
ひづみ 「禍々しい触腕」を取得してるので、カチューシャ以降の髪が伸びて触手になるイメージです！

設定としてはひづみは大妖怪であり、宇宙邪神とは関係がない。

GM では、始めましょう。世界観からおさらいしますね。

ゼーダ オナシヤス。

GM ゼノもーふ！ の舞台は現代日本ですが、この銀河系には無

数の銀河種属がいて、かれらは2000万年以上の昔から、地球人の進化と保護育成、いわゆる「知性化」に関わってきました

オポロ ふむふむ。

GM PCの属する「知性化評議会」は、人類をより高いレベルに知性化し、銀河連合の加盟水準まで引き上げることが目的としており、地球を狙う他の侵略者から人類を守っています。

GM PCは、評議会の作業員として、少女に擬態して地球人の家庭に居候しています。彼女らを「ゼノもーふ」とよびます。対して、地球を早々に侵略しようとする敵対宇宙勢力は、「ボギー」といいます。人類の隠れた指導者という意味で、PCは「メンター」という役職名で呼ばれることもある。

オポロ 了解です。

GM 本作はSFなので、「大妖怪」といっても、大昔に地球にやってきて馴染んだ古参兵ゼノもーふ、という意味あいです。

邪神はまあ、銀河系を太古の昔に危機に陥れた強力な種属がいて、今ではそう呼ばれているという次第。

GM 判定は、能力値+関係する技能値の合計値分、6面体ダイスをふり、出目4以上のダイスが難易度以上の個数でたら、成功。

ゼーダ オポロは全能力値が3なのか。安定しているな。

GM 難易度2なら、4以上の出目のダイスが2つ以上で成功になるわけです。出目がすべて1なら自動失敗（クラッシュ）、6が3コ以上なら自動成功（ブラスト）。

ゼーダ なるほど。

GM 難易度や敵の達成値を2ダイス上回るごとに成功レベルが上がり、よい結果や高いダメージになります。成功レベル+1ごとにダメージ+2。

GM ヒーローポイント的なものとしては、PCの「過去」「未来」、宇宙船の戦歴、愛着対象キャラクターを判定に登場させたり言及すると、+1づつボーナスを得ます。それぞれ使用できるのは、セッション中一回だけなので、使ったらチェックボックスに印をつけて

ください。

GM 仲間のPCを判定支援に登場させると、感情レベルに等しいボーナスなので強力です。これも1セッションに1回のみですが。

ゼーダ 仲間内の感情を整理したいんですけど、いまいち理解出来ていないので。

GM キャラ作成時に決める、仲間PCへの感情レベル値が、判定支援におけるボーナス値になります。感情内容はロールプレイ指針なので気にしないでいいです。

GM あと、ゼノゲージという異形化率を示す数値が初期3あって、判定のときにダイスを増やしたりできます。これは地球上で判定に失敗すると増えていきます。最大6点です。

ひづみ 感情内容は表現してもボーナスにはならないんですけど？

GM そうですね、感情内容そのものは、判定ボーナス自体にはなりません。NPCやPCを登場させたり言及するだけでボーナスです。他のPCに対する感情レベルは、皆さんきめてますよね。キャラ作成時、自身の文化で出た成功率に等しい数字が感情レベルになります。

ひづみ ゼーダさんに対して尊敬レベル2、オポロさんに対して仲良しレベル3です。3は最大値ですね。

GM 例えばひづみは、判定の時にプレイヤーの了解を取ってゼーダを登場させたり手伝ってもらおうと、+3の修正を得るわけですね。

ゼーダ 感情レベルを決めていますんでしたので、今振って良いですか？

GM どうぞどうぞー。

ゼーダ そんなわけで、ゼーダ↓オポロは「嫌いだけど気になる」レベル1、ゼーダ↓ひづみは「尊敬」レベル1。

GM では、オープニングを始めますか。
オポロ 皆様よろしくお願ひします。

八咫野家を見守るもの

GM ひづみは、幼少の頃に特異者と出会うオープニングでよいですか。「大妖怪」なので、代々みまもってきたかんじかなと。特異者、勇志くんのモノローグで始めてみましょう。

ひづみ オッケーです。

僕にはおかしな幼なじみがいる。三年前の夏に出会ったその少女は、蛸星ひづみと名乗った。

まだ中学に上がる前、小学校が夏休みに入って、すぐのことだったとおもう。僕は、近所の裏山にある八咫野神社の境内から街を見下ろすのが好きだった。父さん譲りの金髪はクラスでも浮いていて、その頃は、誰もいない境内で時間をつぶすことがよくあった。

八咫野町は、太平洋に面した外房の、小さな田舎町だ。夕焼けの時分、高台にある八咫野神社の境内からは、黄金色の水平線が見えた。隣町まで足をのばせば、寂れた漁港と小さな海水浴場があつて、毎年夏になると、花火大会が楽しみだった。

境内に続く長い階段を上っていく。山は夕日に沈みかけていた。ヒグラシが物悲しげな声を響かせている。

風が吹いた。暗い鎮守の森が、どう、と揺れる。

いつからいたのだろう。鳥居の上に人影が佇んでいる。子供……かな。だけど、あんな高いところに一人で登るなんて、出来るはずがない。

それが、僕とひづみの出会いだった。

GM 三年前のある日、ひづみは、評議会の月面基地司令官メルカルトに指示されたわけです。「蛸星さん。そろそろ八咫野家の監視保護を始める時期じゃないかしら。頼むわね」

ひづみ 「おー、もうそんな時期でしたか。了解でっす！」

GM メルカルトは、全身が金色のもふもふした毛並みにおおわれた、猫っぽい獣人女性です。マール共和同盟という宇宙勢力に属しています。月面基地の最高指揮官ですわね。

「八咫野一族には、知性化評議会の機密事項と関連するという古いデータがあつてね。念のため、この代でも保護と観察を頼むわね。ご苦労だけだ」

ひづみ 「いえいえ。私はあの一族に大恩がありますからね。こんな苦労のうちには入らないですよ。さてさて、今回の監視対象はどんな子なのかな」と陽気に受ける。

ひづみ シチュはそれで問題ないっす。出来ればひぐらしが鳴いと好ましいです(笑)。

GM 夏の夕暮れですな。山あいの神社、山陰に暗く染まり始めた鳥居に、ひづみが佇んでいるのを少年がみつつけて、「そんなところにいたら危ないよ?」と、驚きつつも話しかける。文化、難易度2で判定を。

ひづみ 文化5なので、ダイス5個振ります。

ひづみ ダイス合計 19 (SD6 = [3 6 1 6 3])

GM 判定は、能力値か、技能があればそれを足したぶんのダイス個数をふり、4以上の成功ダイスが難易度以上、でたら成功です。

ひづみ ギリギリだった。2成功です。

GM どうやら驚かせなかったようだ。その日、勇志とひづみは出会い、それ以後一緒にいるわけです。なお、ミミックファミリーは例外的に、ゼノモーフや知性化評議会の情報を明かされます。そういう契約を知性化評議会と結ぶのです。

ひづみ 「やあやあ。君が勇志くんだね。初めましてこんにちは。今日からよろしく」とまあ、陽気に挨拶です。

GM・勇志 「ええっ、よろしくって?! 君は誰、親戚!」 オタク気質なので美少女の前でおどおど。

ひづみ 「うんうん。親戚のような、そうでないような。細かいこ

とは気にしない気にしない!」と引つ張っていく。それで終わりではないです。

GM 了解。勇志の家に行くと、出迎えた母親、八咫野浦穂は驚かない。小声で「ひさしぶりなのに、きみはかわらないわね」

ひづみが最後に浦穂と別れたのは、彼女が高校生のころだ。いま浦穂は、女流作家兼アナログゲーム・デザイナーとして、立派な社会人となっていた。

竜娘めどめる

GM では、オボロさんのオープニング。封印を解かれるシーンからいきましよう。一年ぐらい前かな。オボロさんが目覚めて暴れるところを、ひづみたちに止められるシーンにしましょう。

オボロ はい。

GM 千葉の山間部、旧街道の工事現場。時刻は深夜。

GM かつて故郷の惑星で大災害に会い、しかも仲間の竜人属から追放されたオボロは、中世の地球で荒れていたわけですが、あるとき強力な特異者に活動停止状態に追い込まれ、ゼノシップごと、時間停止の刑罰を受けていたのだった。

オボロ 地球上ですか?

GM そうですね、山間部の地底です。ゼノシップごと、停滞空間に閉じ込められて地面に埋められています。

GM 工事現場で、作業員がブルドーザーにオボロのゼノシップ: :空力戦闘機を引っかけて不思議がついている。

「なんだ、不発弾か?」

「もっと大きいぞ、翼がある。みたこともない材質だ」

オボロ じゃあ、勝手にハッチが開いて中から煙がもわもわと。

GM 眼鏡をかけた三十代らしい女性が、古文書を手にも「あれを掘り出すのはやめなさい」とわめいているが、工事現場の警備員が、

「教育委員会の許可を得てるんですよ。ここには遺跡はありません」と、制止している。

オボロ 次の瞬間、大爆発がおこる。あたりは火の海に。

GM 宇宙船のハッチが開いて、光り輝く素粒子が渦を巻いて夜空に実体化。竜翼をそなえた猛々しい美少女の形をなす。全裸である。

オボロ あくびしたらプレス出ちゃった。

「いい匂いがする」くんかくんか。

GM 夜、八咫野邸で寝ようとしてたひづみに、評議会から緊急連絡が入る。

「ゼノモーフ案件よ。暴れている個体がいる。地球の軍隊や治安組織に発見される前に、止めてちょうだい」

座標データが、ひづみの宇宙船を経由、ゼノリンクを通じて脳内に送信されてきた。

ゼノモーフは高度な技術力をもっている。ゼノリンクという超空間通信波により、惑星上ならどこでも他のPCと情報共有が可能なのだ。さすがに他の惑星のキャラクターと通信するには出力が足りないのので、ゼノシップの通信機を使う必要がある。

ひづみ 「おお、了解ですよ」と座標に向かうッス。

GM では、軽く模擬戦闘を。

オボロ 火の海の中で、竜の翼を広げた全裸の少女が立っている。

GM・工事作業員 「なんだあれは!」

「化け物だ!」

GM かつこいいのでゼノゲージ(以後、XG) +1してよいです。これでオボロのXGが4になりました。

ゼノゲージは、ゼノもーふらしいロールプレイをすることで他の参加者から1点ずつ獲得でき、判定時に投入してダイスを増やしたり、ダメージを増加させる効果がある。

なお、このルールは運用によっては評価を忘れやすかったり、逆に獲得が過多になることがあるので、後述するように変更予定である。

オボロ 「いいぞ、恐れる! 喚け! そして奴を俺のもとへよこせ!」 適当にプレスを吐く。

ひづみ 「あらら、目立つちゃってるな!」

人の流れに逆らい、にゆるにゆるとと軟体ですり抜けるように現場に近づく。

GM XGは初期3点で、いま+1されたので、最大4個、ダイスを追加できる。

オボロ おお。

GM XGは最大6までたまりません。プレイヤーも、判定時のロールプレイがゼノもーふらしい演技だと思ったら1回1点ずつ、ゼノポイント(XG)をあげてよい。

GM さて、オボロはだいぶ目立つ行動をしていますがね。知性化評議会の作業員は、地球人に正体を知られてはいけません。

この場をごまかせたかどうか、判定してください。文化、難易度2です。ちよつと難しめですね。使えそうな技能があれば申告してください。

オボロ 3d6

DiceBot (3D6) → 9[3,4,2] → 9

GM 失敗しましたね(笑)

オボロ 一個しか成功ダイスが出ませんでした。

GM ひづみに手伝わってもらおうとか、過去・未来などを関連させたロールプレイをすることで、ダイスが増えます(判定支援)。XGを投入してもいいです。

オボロ あえて失敗しておきます。

GM 日常破壊表をふりました。「文化的にずれた発言をした」ので、アラート値が1上がりました! アラート値が合計6点になると、

自衛隊や米軍に君たちは察知されてしまい、決戦フェイズで不利になります！

オポロ なるほどー。

GM・眼鏡美女 「くっ、わたしが小説やTRPG設定を通じてひそかに世間に警告していた古代竜人が、復活してしまった！」

ひづみ でも、これオーブニングで数ヶ月前の出来事なんだし、本編始まったらリセットですよ？

GM なるほど、数ヶ月前ですからね。今回はお試しということでアラート値の上昇はナシにしましょう。

ゼーダ 小説やTRPGじゃ、ひそかに世間に警告してもフィクション扱いじゃねーか！(笑)

オポロ 「……来ないな。ならば……」ぎろりと眼鏡美女を睨む。

GM・眼鏡美女 「でもこれは絵になるから次のシナリオで使おうつと(メモメモ)」

GM もうおわかりでしょうが、この眼鏡美女は勇姿君のお母さん、浦穂です(笑)

GM・浦穂 「勇志、蛸星さん。あの子をとめちゃんささい」

GM 戦闘は、「科学」でイニシアチブ。勝ったほうが先行です。マップも使いますが、今回はなしで。

オポロ あ、勇志くん来てたのか。

GM そうですね、いたことにしよう。「母さん！ あの一と裸でブレス吐いてる！」(赤面)

ダイスをふったところ、オポロは2成功、ひづみは0。

オポロ 勇志君をさらって、匂いをかぐ。くんくん。

GM 距離1の近距離、燃え盛る工事現場で、戦いが始まった。つて、さらってるし(笑)

GM・勇志 「わああ、やめてよー！」 じたばた。

ひづみ 「はいはい、浦穂ちゃんは相変わらずだねー」とどこか懐

かしげに笑いながら、戦闘態勢に入る(イニシアティブは取られてる！)。

オポロ 「間違いない お前だ」

GM 射程内の武器で、技能もプラスして攻撃判定していいです。

オポロ じゃあ、短プラズマ砲相当のブレスだ。

GM ひづみの今の台詞はロリばばあめつたので、判定に負けてますがゼノゲージ11で。

ひづみ ろりばばあめつたのか。

GM 短プラズマ砲だと射撃判定です。「科学」と、小火器の技能値合計ぶんのダイスをふってください。

オポロ 1成功。

GM 灼熱のプラズマ・ブレスが夜空をつらぬき、ひづみにせまる！ 「異形」で回避よろしく。

ひづみ 2成功。

GM 回避しましたね。軟体っぽい老成した動作で……

ひづみ 「当たらない当たらない」ニコニコしながら避けます。

GM と、夜の工事現場で白熱した戦いがあつたが、オポロはどうにか説得されるのだった。

ひづみ あれ？ 省略ですか？(笑)

GM あ、まだ戦いますか。ひづみ、攻撃判定どうぞ。

ひづみ 触腕を高速で伸ばして殴ります。3成功。

GM オポロさん、異形値で回避してみてください。回避系の技能があれば加算していいです。

オポロ (判定する)

GM 2成功にとどまったので、触手でなぐられていますね。

ひづみ カチューシャから後ろの髪が伸びて触腕に！ 殴打！

GM コウイカの素早い触腕攻撃か？ シュールすぎる(笑)。

ひづみ ダメージ5+精神ダメージ5。

「ほらほら、落ちて着こうよ？」

ゼーダ オボロに捕まえられている勇志君はどうなるん？

GM あつ。

ひづみ 精神ダメージが入るので落ち着かせた、みたいなイメージで。

GM・勇志 「ぎゃあああ！ ひづみが、タコ頭だあああ（泣）」

オボロ じゃあ、触手攻撃から勇志をかばって倒れる。

GM おお、全裸の竜娘が、金髪の少年を。うつくしい。

オボロ どさり。

ひづみ 「蛸は頭足類だよ！」

よくわからないセリフである。

GM・浦穂 「うちの勇志にはそんな展開は早すぎるわ！」 何か誤解したようである。

オボロ もちろん勇志くんはオボロの下敷きだ！

GM エローイー。じゃ、オボロに、XG+1。

オボロ わーい、また溜まった。

GM どちらにしろ知性化評議会も、オボロに八咫野家で勇志少年を保護するよう命令してきますので、説得されて仲間になったというのでいいでしょうか。どうやら、昔キミを封印した人の子孫っぽいです。

オボロ はい。

GM・浦穂 「やれやれ、書庫をこの竜娘ちゃんのために空けなきゃいけないわね」

熱唱！ 軌道上の銀河アイドル

GM ではゼーダザールのオープニングを。

ゼーダ よろしくお願ひします。

GM 劇中時間という今。春のある日、勇志と、ひづみ、オボロは、同じ中学校で退屈な授業を受けている。暖かな日差しが教室に眠気を誘う。勇志があくびをししながら、「このセンセイの授業、眠いなあ」

同時刻、地球・月ラグランジュ点の宇宙空間にて。

売れない銀河アイドル、ゼーダザールは、宇宙空間に天体サイズの三次元画像を投影して、コンサートの真つ最中だった！

銀河文明からみれば辺境の、ごく小さなコンサートではあるが、娯楽の少ない太陽系のゼノモーフたちは、喜んで艦隊を集めて軌道上で応援していたのである。

地球の少女に擬態したゼーダの姿が、ゼノリンク波によって空間に拡散していく。古き種属の血をひく半機械の少女は、精一杯、歌声を星空に響かせる。

天体サイズの少女アイドルを護衛するかのようには、何重にもなったファンたちの艦隊が結集し、それぞれにレーザー通信光を発振。おおいに盛り上がりつつあった。

GM 自分のゼノシップを舞台にして君が歌って踊ると、それが軌道上、数百万キロに空間投影されるシステムだ。

ゼーダ 「いえーい！（棒）」（本人的には感情を出しているつもり）

GM 踊りと歌だから、そうですね、文化、難易度3で判定を。

ゼーダ 「次の曲は… 『Mond Licht (月光)』です！(棒)」

ひづみ ひづみも授業中だが、密かにコンサートを視聴してる。ゼノモーフ動画サービス(ゼノ動)で観てる。

ゼーダ ゼノ動(笑)

GM ゼノリンクを通じて、視界内に映像を重ねて鑑賞しているかんじですね。一般的なサイバーテクノロジーや、地球上でのPC間の通信は当たり前でできますので活用してください。

ゼーダ 「古支配者の威圧」使っていいですか？

GM 観客を邪神の宇宙的恐怖で威圧するコンサートって、どうなんだろ。まあいいか。

ゼーダ 本人は精一杯自分をアピール(威圧)してます。

ひづみ 「脳髓がシビれるような、あの威圧がクセになるんだよねーわくわく」次の曲が始まるのを待ってるひづみ。

GM 難易度2にしよう。文化1+古支配者の威圧1レベルで、合計2個ダイスをふって、2個以上成功ダイスをだせば成功です。

ゼーダ それってXGを使わないと無理じゃないですか。XG1つ使います。(3D6)→11[6,1,4]→11

ゼーダ 成功！「みんなありがとー！(威圧)」

GM 歌詞と振り付けを間違えそうになったが、なんとかキミはファンの前で、公演をやりとげた。ところで、ひづみはアイドルマニアなんですか？

ひづみ いや、ゼーダさんに「尊敬」の感情をもってるから、前々からファンだったということにしようかなと(笑)。

ゼーダ 光栄でっす。

ひづみ 「威圧キター！ くうう、シビれるなあ」(注：授業中)

GM? 「そんな歌より、このあたしの歌を聞きなさい！」

突如、真空の宇宙空間を圧するゼノリンク波が大出力で、軌道上に。

ゼーダ 「えっ！」

GM 七色の翼を展開した、神々しいハーピー型銀河アイドルの三次元画像が星空に投影される。

ゼーダ 「眩しい……！」

GM? 「太陽系でも公演することになりました！ ロザム・エンターテイメント公式アイドル、アンフェルちゃんです☆」

GM ということで、ゼーダのライバル・アンフェルが現れた。歌と踊りの勝負をしましょう。文化値で判定です。

ひづみ 「メジャー系は興味無いんだよねー。頑張れ！ ゼーダちゃん！」

GM 鳥型種属の流麗な宇宙艦隊が、急速接近！

鳥型の銀河アイドルは5成功、ゼーダは1成功であった。

ゼーダ って勝てるか！

GM 2レベルもアンフェルが凌駕していますね(笑)

ゼーダ 「く、なんで私のコンサートに……(涙目)」

GM アンフェルは、6枚の翼をたたんでスピントップ急上昇、太陽を背にしたところで翼が開き、七色の光芒が月の軌道上に放たれる。

GM アンフェルの艦隊が一斉射撃、きみのスタジオの親衛艦隊は、次々に爆発四散していくのだった。

ゼーダ え？ そういう軍事衝突もアリなコンサートなんですか。

「ここは私とアンフェルとの闘い！ 貴方たちは逃げなさい！」

GM 親衛隊「俺たちのゼーダちゃんを守るんだ！」 ガルナス系の無骨な駆逐艦が、キミの船の盾となった。爆発！

GM 大部分は、ゼーダの的確な扇動によって脱出しました。

ゼーダ 「ああ！ ザールカンサーン！」

GM アンフェル「……この星は、あたしたちがおさえるのです」映像が歪に微笑んだようにみえた。

ひづみ 「今日の放送面白いな。録画しておこっと」

GM イベントだとおもっている(笑)。

ゼーダ ゼーダはこのまま地球に墜ちていくの？

GM うむ。敵の火力はすさまじく、キミの船は被弾し、軌道上から地球へ脱出せざるを得なかった。

オポロ ガバつと起きる。校舎の屋上に走る。

ゼーダ 「覚えてなさい、この借りは必ず……」(落下中)

GM・メルカ 「ゼーダさん、地球のカントー平野で、メンターとしての任務がありそうよ。船はこちらで修理するから、かわりに、蛸星とオポロのチームに合流してください。ゼノリンクの識別コードを今から送信します」

ゼーダ 「了解。ゼノリンク識別コードを受信」

GM・メルカ 「貴女なら、彼女たちの任務にちょうどよさそうだからね」といったところで、ゼーダのゼノシップが大気圏突入したため、空力加熱のプラズマにより、通信が切れた。

ゼーダ 私のゼノシップはフレーム戦闘機だから、ほぼ生身で落下。

GM パワードスーツのようなフレーム戦闘機が、炎の尾をひいて大気圏に突入していく。

オポロ どこに落ちるか見てる。

ゼーダ 助けにこないんかい！

ひづみ 「あれあれ？ ゼーダちゃんとリンクした？ おおー」

ちよつと高揚してる。

ゼーダ 「ひづみ……さん？ 現在落下中なんだけど、どこに墜ちればいい？」

オポロ 敵かもしれないから攻撃しようとしたけど、踏みとどまった。

GM・メルカ 「八咫野一家の保護任務、および八咫野町の防衛任務をあなた方に依頼します。付近の戦力としてゼーダというメンターを派遣しますので、協力お願いね」と、ひづみ、オポロに指令が下命される。

オポロ 「なんだ、戦えると思ったのに」トボトボ帰る。

助けないのか(笑) と思うGMであった。

ひづみ 「やあやあ、初めましてゼーダちゃん。こちら今学校の授業中なんで動けないんですよー。適当な海域にでもプチ落ちちゃって下さいなー」

ゼーダは、そのまま房総沖の海面に着水、水柱を洋上に吹き上げた。ステルス判定に成功したので、自衛隊や警察などには気づかれなかった。

GM 華麗に着水しつつ、軍のレーダーはこまかせたようだ。

放課後、びしょぬれになったゼーダと、オポロ、ひづみ、勇志少年は、初めて顔合わせしたのだった。

ゼーダ 「はじめまして……ゼーダです(棒読み調)。アイドルします」

GM 勇志少年は、オポロのうしろに隠れながら、「初めまして、で

かくてゼノモーフ三人娘は、千葉の片隅、八咫野家に居候するこ
とになったのだ。

怪しい同人音楽

GM ある日の放課後、きみたちは中学校の視聴覚教室にいた。風紀委員の世具野芳子に呼び出されたのだ。高圧的だがセーラー服の似合う女子中学生である。髪はショートカット。

ひづみ 仲良しです！

GM・世具野 「こういつちや難ですけど、あなた方って余り女子グループとかに入っていないかんじだし、お願いがあるの」

ゼーダ 「……なにかイラッとする言い方……」(小声)

GM・世具野 「変な曲が最近流行っていてね。風紀を乱す原因になりかねないから、ちよつと調べてほしいのよね。わたくしはほら、同人音楽なんていう、オタクっぽいものは詳しくないのですけれど。蛸星さんとか、何かいつも得体の知れない音楽を聴いてる風じゃない？」

ひづみ 「なるほどなるほど」

GM 思いつくんだが、たしかに休み時間になると、クラスの人達はみな特定の同人音楽にハマっているようだ。「これよ」といって世具野は視聴覚室のメディアプレイヤーで音楽をきかせる。

ゼーダ 「世具野さん……同人でもプロでも、歌は良い物ですよ」と、笑顔のつもりで、風紀委員を威圧しそうになる。

GM 聞いたことのないバーチャル・アイドルに歌わせている曲だが……全員、文化2で判定を。

GM 一番縁遠そうなオボロだけ成功ですね。

GM ゼーダは学校では音楽活動してる？

ゼーダ そういえば吹奏楽部でした。

ゼーダとひづみは判定に失敗。GMは二回分、**日常破壊表**の結果を適用する。

GM 君たちは「恥ずかしいことをして注目された」「異形画像をネットに掲載された」で合計5点、アラート値がたまりました！あと1点、上昇したら、**自衛隊や警察に察知される**かもしれない。

オボロ 大変だ！

GM オボロは気づいた。その音楽はただの同人音楽ではない。ゼノリンク波に似た、精神に働きかける異星の言語らしい波動が紛れ込ませている。

ゼオボロ 「耳障りだ、止める」

GM・世具野 「ひつ」驚いて音楽を止めた。

GM 君たちゼノモーフに影響はないが、授業中にまで携帯音楽プレイヤーで聞いたりしてる人が増えている。

ゼーダ アイドルとしては気になりますね。

GM・世具野 「わたくし、クラシックにしか興味がなくて。ちよつとググったんですけど、これを作っている音楽サークルというのがどうも実体がよくわからないの。イベントで音源配布してるんですけど。でも委託ばかりなんですってよ」

オボロ 「ぐぐ？ 委託？ とにかくこれを作ってる奴らをなんとかすればいいんだろ？」

ゼーダ 「わかったわ、世具野さん。私も、アイドルとしてこの歌は見過ごせない」

GM・世具野 「ま、まあそうですね。オボロさんって野性的なすごみがあるわね」

GM ゼーダは地球でもアイドルなんですネ？

ゼーダ 「あ……あ、アイドル好きとして……」

GM 学ランを着た勇志が、視聴覚室の扉を開ける。「こんなところにいた。近くでコンサートがあるんだって。帰りに寄っていいかな？」

ゼーダ 勇志も影響受けてる(笑)

GM・勇志 「農協前広場の路上ライブらしいんだけどさ。あ、ゼーダはこういうの興味ないよね」オボロとひづみだけに話している。

現時点での選択肢としては、学校内でその曲に熱中している人に聞き込みするか、路上コンサートに行くかですね。

ゼーダ 「きよ、興味……あります」と、勇志の袖を引っ張る。

ひづみ 「丁度今音楽の話してたところだし、ちよつとコンサートに行ってみよっか」

オボロ 勇志君が洗脳かかっているかどうか調べられませんか？

GM 科学2で判定を。生物学とか心理学関係の技能があれば加算

していいですし、判定支援もつかっていいです。

ゼーダが判定に成功し、気づいた。

GM 勇志の脳波パターンが変化していて、どうやらさっきの同人音楽に影響されているらしい。コンサートというのもそのサークル関係者が主催しているっぽい。世間的には、地元の小さな音楽サークルということになってるようだ。

ゼーダ 『……勇志は、連れて行かない方がいい』

GM じゃ、三人だけで露天コンサート会場に移動しますか。

ゼーダ どうやって勇志を残るよう説得します？

ひづみ 『勇志くんは先に家に帰って晩御飯の用意をしててねー』と、間違えてゼノリンクで話しかけてる。

GM・勇志 「？」に「こ」にしてひづみを見る。

ひづみ 「(間違えた) 先に帰って晩御飯の用意、お願いだよー」

ひづみは、勇志の説得判定に成功する。

GM・勇志 「そんなにいうなら、また次でいいや。そのかわり今夜は、代わりの曲をひづみが聞かせてね」

ゼーダ 『さすがひづみですね』(ゼノリンク)

ひづみ 『ゼーダちゃんの一言も効いてたよー』

ゼーダ 『……どうも』(照れてる)

GM じゃ、コンサート会場にシーンを移しますか。

謎のコンサート

GM 田んぼの広がる中、さびれた農協の建物の前に粗末な野外コンサート会場が設置されている。数十人ほど、観客が来ている。

羽の生えたマスコットキャラっぽい着ぐるみが、バーチャルアイドルの曲を歌っている。

ゼーダ その羽根に見覚えありますか？

GM 「つぎの曲は、『恋の波間にゼノハウト』！」

GM 着ぐるみっぽいからよくわからないが鳥の羽をデフォルメしたもののように見える。

GM で歌い出すんだが、観客の様子が明らかにおかしい。頭をおさえて苦しみだしているぞ。

ゼーダ 「……アンフェルっぽい……かも？」

GM そういえば曲のリズムがアンフェルの曲に似ている気がする。

ゼーダ 自分の「広域歌唱」でこの歌を打ち消すことはできますか？

GM 上手いですね、じゃあ難易度2、科学で。

ひづみ 「ゼーダちゃんの生歌キター！」支援になります？

GM ゼーダが判定支援を要請して、ひづみを判定に登場させるロールプレイをすれば、感情レベルに等しい判定支援になります。

この手順をふまず、支援する側が一方的にしたい場合は、XGを与えるというルールも有ります。

ゼーダ 「ひづみ……コンサートでの合いの手、お願いね」「広域歌唱」で『愛のドロップキック』(定番)を歌います。

GM 曲名がいろいろありますね(笑)。

GM ゼーダのひづみへの感情レベルボーナスが入る。

ひづみ 「愛ドロ来たー！」

GM ゼーダは、ひづみのチェックボックスにチェック入れといて下さい。

ゼーダは広域歌唱で、人々を助けようとする。ひづみの判定支援＋1を得て、結果は3つの成功ダイスが出た。

GM ゼーダの逆位相の歌声が一带に広がり、みごとに楽曲を打ち消した！ 人々は無事だ。

GM・羽つぎの着ぐるみ 「クツ、邪魔が入るとはな」いって、光学迷彩を起動して虚空に消えましたね。

ゼーダ 「ひづみの合いの手……バッチリだった。ありがとう」

オボロ 「逃がしたか」

GM・聴衆 「ううう、なんだったんだ今の曲は」

「凄良いいボカロ曲だとおもったら、まるでなにかに支配されるかのような」

ゼーダ 「皆さんが聴いた素敵な歌声はアイドルのゼーダちゃんのもです……よ・ろ・し・く」

精一杯のアピールだが、脅しのようにしか見えない笑顔をみせる。

GM・聴衆 「おお、我々を救った歌声は、きみの？」

「キミもアイドルなのかい？ 握手してくれないかな（ハアハア）」

ゼーダは地球人のファンを増やそうと、ゼーダちゃんハアハアおじさんなどを相手に「扇動」で判定を行うが、失敗してしまった。ゼノスーツの表情が硬すぎたのかもしれない。

ゼーダ 笑顔が怖すぎたのかしらん？

GM・聴衆 「ゼーダ？ 知らない子ですね」

「やっぱアンフェルちゃんだよな！ ぐふふ」

ゼーダ 「アンフェル。ぐぬぬ」

火星圏へ急げ！

オボロ 「俺は奴を追う。逃すものか」 ゼノシップの隠し場所は、「使われていない旧校舎」です。

ゼノもーふ！ PCは、一人一隻ずつ、固有の宇宙船を保有している。これをゼノシップという。中盤以降、必ず宇宙での情報収集シーンがあるため、ゼノシップの性能も重要である。

GM 夕日に沈む古びた無人の校舎から、時空間をねじまげて、流麗な宇宙戦闘機が実体化して、オボロのもとに飛んできました。

オボロ 「我が翼よ、奴を追え！」

GM 他の二人もゼノシップをだしますか？ 地上での調査も可能ではありますが、いまアラート値が5になつてるので、あと1点上がると、決戦フェイズで自衛隊に邪魔されますし、迎撃フェイズが発生しなくなる。宇宙での調査お勧め。

GM プラズマエンジンの白熱光をエンジンノズルから吐いて、竜娘オボロの戦闘機が大気圏外へと上昇していく。

オボロは軌道上で、逃走していった所属不明ゼノシップの航跡を捕捉した。

オボロ 回線を開いて名乗ろう。「われはオボロ。厄災の竜！」

GM だが、敵の船は、いきなり通常空間からかき消えた！ 星系内で短距離ジャンプするとは、普通ではあり得ない。航跡を計算するか、先のコンサートの音楽データを解析すれば、敵の逃げた先が分かります。

オボロは「科学」で判定に成功する。

GM 敵の船が短距離ジャンプしたのは、どうやら、火星の公転軌道上にある、ガルナス艦隊泊地らしいです。他の二人も向かいますか？

特別な事情がない限り、PCは行動を共にした方がよい。特異者、人類と町内を防衛するという目的は全てのPCに共通しており、システムレベルでのPC間対立は基本的に想定していないからだ。

GM 先ほど収集した音楽データの解析は、移動中でもできます

ゼーダ 私のフレーム戦闘機、なぜか隠し場所は「廃工場」です。

ひづみ ひづみの宇津^{うづみ}炬^{たけ}舟^{ふね}「外道丸」は猫に変化して、常に一緒にいます。

GM 裏山にある魚介加工工場の廃墟から、フレーム戦闘機がトタン屋根をつきやぶって飛び出す！ 全自動でゼーダを包みこむように回収し、そのまま夕空へ飛び立つ。

GM 「にやおおん！」 ひづみの足下で丸まっていた猫が、めきよめきよと中型宇宙船に変形！ 猫バスっぽく柔らかなハッチが開いて、君を乗せて離陸する。

GM ふたりとも、科学1でステルス判定をどうぞ。

ゼーダは問題なくステルス判定に成功したが。

ひづみ おおお、科学1だぞこのタコ娘。ドーすんだ。

ひづみ ダイス合計 3 (1D6 = [3])

ひづみ 失敗した(笑)。

このままではアラート値が6になってしまおう。厳しい。

GM 第一話なので、特例として、今からでもXGや判定支援を要

請するならば、判定し直してもいいですよ。ここで失敗すると決戦フェイズで大変です。

GM・航空自衛隊基地 「レーダー感あり、アンノウン！」

GM・在日米軍基地 「千葉県上空に未確認飛行物体を捕捉した。自衛隊に連絡！」

ひづみはXGを1点投入してステルス判定に成功。

GM すばらしい。自衛隊のレーダー員が、「目標^{ロスト}失探。誤認か？」

GM では、三人のゼノシップは軌道上でランデブーしました。火星圏への移動は、1時間かかる。推進剤2点を消費するので減らしておいて下さい。うまくやれば、夕食の時間までには帰ってこれるでしょう。

ゼーダ さっきの怪しい音楽のデータを、「科学」で調べます(判定する)。

GM 成功しましたね。彼女らが流していた曲には、人類には聞かない周波数で、宇宙邪神ガーライルが放つものに似た精神波動が仕込まれていた。

GM 当然、地球上で制作された曲ではない。出所は、どうやら火星圏のガルナス艦隊泊地らしい。そこに、やつらの根拠地があるようだ。

ゼーダ 「この波動は、私と同じガーライルの眷属？」

ガーライル属とは、三百万年以上の昔、銀河系を支配していた謎の古代種属だ。物理法則を無視するかのような強力な超常能力を発揮し、銀河系の他種属を恐怖で支配していたのだという。

その後、ガーライルの眷属は、惑星インファルトの王族をはじめとする銀河連合軍の一大反攻作戦により、滅ぼされたはずだった。

だが、今なお、ガーライルの眷属がもつ異能は、さまざまな種属に発現するのである。

GM ゼーダも、そのガーライルの異能をもって生まれたという背景がある。ガーライル属は宇宙邪神の眷属といわれるほどなので、通常はゼーダもその出自は隠しているはずですね。ルール上、普通にPCに出来るけど、宇宙邪神にはそういう背景があります。

この設定はルールブックに書かれていないので、GMが採用する場合、事前にプレイヤーに説明しておこう。

ゼーダ 今のは小声の独り言デスヨー。きつと他のお二人も大人な対応してくれるはず。

GM もし、また宇宙邪神ガーライルとその眷属が蘇ることがあれば、知性化評議会はおろか、銀河連合そのものが壊滅するかもしれない、といわれている。そのため、まれに生まれるガーライルの因子をもつ者は、例外なく弾圧されてきた。

オボロ 「何でもいい。奴は、この竜に対して礼を欠いた。落とし前をつけさせてやる」

ひづみ 「勇志くんに変な歌を聞かせようとした連中は許しておけないよねー」

一同は所属不明機を追って、火星方面宙域へとゼノシップを飛ばした。

GM 君たちは、火星圏のガルナス艦隊泊地に移動した。

ゼーダ でもここ最近の火星事情しらないわ。

ゼーダたちの船は、火星L4トロヤ群へと接近していった。火星公転軌道を火星に先行する形で、太陽の周りを周回するラグランジュ点である。

いくつ小惑星が浮かぶそこには、偽装シールドに隠された数百

隻もの航宙艦が停泊している。赤く武骨な甲殻装甲におおわれた異形の艦は、どれも、ガルナス帝政連合の大型ゼノシップだ。

このガルナス艦隊泊地は、三千年ほど前から、太陽系におけるガルナス帝政連合の有力な戦略拠点とされており、無数の艦艇が停泊している。泊地宙域の外縁には、廃棄された艦艇やそのパーツが、が軌道ショッピング街を形成しており、ゼノモーフたちが休日やってくることも珍しくない。

だがそこは、艦隊が廃棄した多くのスクラップ艦艇が漂う場所でもあり、ボギー勢力の格好のアジトともなるのだ。

GM 月基地以外では一番手近なショッピング街でもあるので、よくゼノモーフ娘たちが買い物にきている。二十万年以上前から地球人の知性化にゼノモーフたちは乗り出しているのです、すでに太陽系の各惑星には、色んな宇宙種属の基地やコロニーがあります。

ゼーダ 知らぬは地球人ばかりなり、か。

GM 各国上層部にもゼノモーフがいるので、望遠鏡や宇宙探査機も、すべてゼノモーフ文明の形跡はキャッチできないように工作されてしまうのである。

GM そして、その艦隊のはじつこのスクラップ艦艇がうかぶエリアに、さきほどのゼノシップも逃げ込んでいったようだ。さっきのゼノシップが逃げ込んだのは、一隻の廃棄された宇宙駆逐艦のスクラップだとわかりました。

オボロは宇宙戦闘機のエンジン出力を上げ、加速していった。

ゼーダ 「オボロ、待ち伏せされている可能性があるよ、つて、聞いてない？」

オボロ 「ふん、待ち伏せせねば我らを迎えられんような軟弱な敵など、恐るるに足りん」

オボロ 「オボロだ！ 貴様らを食いに来た！」

ゼーダ 「ひづみ……オポロがああ艦に入ったあと、少しタイムイン
グをずらして突入する？」

ひづみ 「太陽系人脈」に「小惑星帯の海賊幹部」があるんですけど、これは使えますか？」

GM いいですね。人脈はこじつけて使用宣言すれば、だいたい使
用できます。その人脈を消費すると、そうだな、迎撃戦闘機のたぐ
いは、この火星圏にいる海賊の手下がひきうけてくれるということ
にしましょう。

ひづみ 打診しておこう。「やあやあ。昔の馴染みでしょ？ ちよつ
と手伝ってよー」

GM どう打診するのか、ロールプレイよろしく。

GM 海賊幹部は、ガルナス系の大柄な恐竜人だ。

「おお、二世紀ぶりか、久々だな。***（地球言語で表記できな
いひづみの本名）の頼みとあっちゃあ、しようがあるめえ。若えもん
の戦闘機をそつちにやつとくぜ」

GM というところで、宇宙艦のスクラップからドローン戦闘機の編
隊がとびたつてきたが、火星方面から飛んできたガルナスの戦闘機
隊が、オポロの行く先を掃除してくれた。爆発していくドローン編
隊。

ひづみ 「あつは、久し振りー。しばらく封印されたりしてたから
ね。よろしくー」

GM・海賊幹部 「***（ひづみの本名）。借りはけえしたぜ！」

最近、おれらのシマを、ガーライル残党を名乗る**召喚主義者**つて
やつらが荒らしててよ。知性化評議会として、とつちめといてく
れ！

ひづみ ひづみの本名は伏字だったのか（違）。

GM では、君たちのゼノシップは、目標の駆逐艦スクラップにド
ッキングできた。

ゼーダ 召喚主義者つて、ゼーダは知っているのでしょか？

GM 文化、難易度1で判定を。

判定難易度について、文化値で難易度1の判定をして下さいとい
う意味で、「文化1で判定」と略して表記することがある。

ゼーダ この人見知りの威圧系アイドルに『文化』で判定とな！

GM 威圧系アイドルとは。

ゼーダ 「ゼノハウト教典」を使っても良いですか？

ゼーダは成功ダイス数1で、ぎりぎり判定に成功。

GM 禁断の銀河ライブラリにアクセスしたきみは、情報を得た。
召喚主義者というのは、ガーライル神の復活をもくろむ**宇宙規模の
秘密結社**で、しかもゼーダの出生にも関わりがあるらしい。

ゼーダ なんと！ 人造ガーライル属という設定にしたので、気に
なりますね。

GM うむ。そのことは、まだ仲間には話さないのかな？ ゼーダ
は特異者の家に来て、まだ日が浅いですよね。

ゼーダ 流石に、まだ話さないですね。オポロとひづみには、自分
のことは伏せて、召喚主義者のことを伝えます。

GM ルルプの記述だけだと、べつに宇宙邪神キャラも普通に作れ
るし、出自を周囲に隠せとも書いてないんですけどね。今回のキャ
ンペーンでは、ガーライル属の設定を掘り下げて紹介したいと考え
ています。

ゼーダ 楽しみです。

潜入、宇宙駆逐艦

GM 君たちはスクラップ駆逐艦の艦内に侵入できた。廃棄された
太古の宇宙駆逐艦だ。人工重力場はとうの昔に停止し、生命維持装

置も機能していないが、ゼノモーフなら平気だ。君たちは空中を泳いで、暗く、入り組んだ通路や隔壁をくぐりぬけていく。

GM 先頭はたぶん、オボロなんでしょうねえ。

オボロ もちろん！

ゼーダ オボロが張りきって進んでいるので、少し遅れてゼーダとひづみが続いています。

GM 隔壁のあちこちから、戦闘ドローンや、隠し銃座が顔を出して、レーザーやプラズマ弾を発射してくる。オボロは、異形2で回避判定してください。白兵戦技能を使うこともできません。

オボロは成功数3で回避に成功。そのまま、ドローン群を叩き落とし、自動銃座をなぎ払い、艦の深奥に進撃していく。

GM 駆逐艦の奥の戦闘司令室が、アンフェルの音楽スタジオ収録室に改造されているようだ。灯りがもれている。内部で、どうやら曲を収録しているようだ。虹色の翼を光らせ、銀河アイドルは絶好調で踊っている。

その音楽データを地球に送信しているようだ。地球での拠点が、八咫野町の廃校に隠されていた。と、会話の内容で分かる。

GM アンフェル 「来たようね」

翼をもつ少女は、虚空に嗤う。

GM アンフェル 「太陽系にもガーライルの一族がいるとは聞いたが、そうか、そういうことか。ふふっ」

GM どうしますか。説得するか、戦うか、評議会に通報するか。

オボロ 戦いたい。

ゼーダ 「どうして……あなたが」

ひづみ 「とりあえず、変な歌を流すの、やめて欲しいかな」

GM アンフェル 「くくっ。あの曲で、地球人どもの適合者を覚醒させるのよ……！ わかるでしょう、ゼーダ」

ひづみ 「わかるの？ ゼーダちゃん？」

GM アンフェル 「本来、この銀河系はガーライル神が統べるべきなのよ」翼を広げ、ライトを背負ってにまあつ、と嗤う。

ゼーダ 「あなたも私と同じ……だったの……」

GM オボロが戦うなら、ここで戦闘かな。学校フェイズなので、簡易処理にしますね。

オボロ 戦う。

ゼーダ 「でも、その笑顔は、アイドルとしてはマイナスよ！」

GM アンフェル 「どちらが人々の上に君臨するにふさわしい偶像か、おもいしらせてあげる！」

GM 科学で対抗判定、イニシアチブ判定です。

イニシアチブ判定に勝利したのはゼーダたちだ。イニシアチブをとると、敵の配置を知ってから自由にキャラクターをマップに配置でき、先に攻撃できる利点があるが、ここでは簡単に、マップを使わず処理している。

ゼーダ 「私は……ガーライル神とか、銀河を支配とか……分からない。でも、今の貴方の姿は、キラキラしたアイドルじゃない！」

GM オボロたちが主導権を取った。アンフェルは応戦しつつも撤退する構えだ。

GM アンフェル 「知性化評議会に牙を抜かれたみたいね。われら召喚主義者の邪魔はさせぬ！」

GM アンフェルは射撃しつつ離脱するつもり。そちらから、「科学」が高い順に戦闘行動してください。

オボロ 科学3です。

ひづみ 1デス。

ゼーダ 科学5です。「アイドルなら歌で勝負よ！」広域歌唱で、ど

うやうやと戦おう。

GM それは面白いな。では、特殊ルールで、広域歌唱の勝負に自分の手番で勝ったら、ひづみとオボロの攻撃判定に+1のボーナスが入る、としましょう。そちらから攻撃どうぞ

ひづみ 合の手とかコーラスとかの準備万端！

GMアンフェルの部下 「アンフェル様。味方艦艇が出ます」

アンフェルが、「わかった、すぐ黙らせるわ」

ゼーダ 「私の歌を聴きなさい！（威圧） 十八番の、『愛のドロップキック』！」と、広域歌唱で歌います。

GM 白兵攻撃なら異形、射撃なら科学、歌は、まあ例外処理ですが、文化かな。でも、広域歌唱は科学値ベースでしたね。

ゼーダ ひづみに判定支援を依頼しよう。

「ひづみ……貴方の合の手、期待しているわ！」

ひづみ 「まっかせてー。何から行く？ 愛ドロ？」

ゼーダ 「愛ドロよ……よろしく」と、にっこり。

GM ゼーダは、ひづみへの感情レベルに等しいボーナスを得ます。

ゼーダ これで+1。更にXGも使って+1。

GM 自分の「過去」や「未来」もロールプレイに絡めることで、さらにボーナスが入ります。

ゼーダ 「私は……キラキラした貴方を見て、アイドルを目指したのよ！ だから今度は、私が貴方よりキラキラしてみせる！ 私の歌を聴きなさい！」過去を絡めました、これでプラス修正が？

GM オツケーです。

ゼーダ じゃあ、基本値 $\frac{1}{2}$ +ひづみからの応援（1）+過去（1）+ゼノゲージ（1）で合計8。

（判定して）4成功！

GMアンフェル 「くっ。前に、宇宙空間で聞いた時とは違う。なんとという力に満ちた歌声！」

アンフェルは1成功だけだ。ゼーダの歌の迫力に、アンフェルは大敗。翼をすぼめてショックを受けたようすだ。

GM 2レベル成功なので、ひづみとオボロの攻撃判定に+2していいです。（特殊処理）

ゼーダ 「伝わって、私の歌」

続いて、オボロの放った短プラズマ砲の電離粒子弾が、アンフェルに命中！ アンフェルの翼に損傷を与える。

GMアンフェル 「くっ、避けられない。あの歌が、奴の仲間に力を与える！」

さらに、ひづみがゼノジーン「禍々しい触腕」でアンフェルを攻撃。ゼノジーンなので自動的に命中、精神ダメージ4点を与える。

GM 人外パーツは強い。

GMアンフェル 「この触手、よけれん！ ぐあああ」正気度低下（笑）。

ひづみ 「によるによるー」

ゼーダ あんな蛸触手に殴られたら精神ダメージも入るわね。

GMアンフェル 「撤退よ！」次元の狭間に消えていく。

GM そのあと、知性化評議会の警務部隊もかけつけて、残った部下スタッフたちを逮捕していった。

GM ガーライルとは、三百万年以上の昔、この銀河系を支配していた古代種族だ。かれらは精神を支配し、次元を超える超常の力で他の銀河種族を支配していたために、武装蜂起したインファルト人をはじめとする勢力によって、百二十万年前に滅ぼされた……はずだった。

以後、まれにガーライルの因子をもつゼノモーフが生まれることがあるが、ほとんど正体を明かすことはない。

GM 現場を調査する人は、科学1で判定をしてください。

全員、敵アジトの調査判定に成功。

GM これで、全ての情報ユニットが判明した。シナリオで設定されている情報ユニットが全て開示されると、学校フェイズは終了するよ。

★情報1，黒幕

ロザム・エンターテイメント社。銀河アイドル・アンフェルを擁する巨大な娯楽系の銀河企業で、三次元映画や体験ソフトの大手。系列会社に兵器関連もある。

★情報2，犯行の内容・理由・敵戦力

ロザム社の音楽データを地球の音楽データに偽装し、各種イベント会場などで配布する計画。同人系に偽装し、正体を掴ませない。

★情報3，犯行の日時・場所

太陽・火星ラグランジュ点にあるガルナス戦艦の廃墟ブロックで建造した情報戦用電子戦艦による大規模ハッキングを行う。銀河アイドル・アンフェルが町内イベントにやってくる日、八咫野町にあらわれる。

GM ということで、数日後にアンフェルは君たちのいる八咫野町でコンサートを予定しており、それにあわせて、電子戦艦で大規模な精神ハッキングをするようだ。

GM 評議会の月面基地から通信が入るよ。

GM・メルカ 「警務部から連絡があったわ。召喚主義者と交戦したの？」と、君たちの上司である、ふるもつふケモ娘が聞いてくる。

ゼーダ 「歌でどつきました：」
ひづみ 「触手でどつきましたー」

GM・メルカ 「やはり、太陽系でも召喚主義派の残党が……」

今から20年前、ガランムア王族の末裔が太陽系で地球を制圧しようとして、銀河連合のエージェントとの間で交戦した事件があったね。かれらは制圧されたけど、その残党、召喚主義派は、ガールイル神の力を利用するつもりらしいの」

GM 「近ごろ、知性化評議会の内部でも、召喚主義派の息がかかった勢力が、地球の早期制圧を唱え始めている。もし、評議会が分裂したら……。お願い、アンフェルたちの企みを阻止して、評議会内部とのつながりを洗い出してちょうだい」

ゼーダ 「大規模ハッキングを計画している電子戦艦は、どこに隠れているんでしょう？」

GM・メルカ 「電子戦艦は既に完成して発進したようね。今からなら迎撃可能なはずよ」

GM アラート値を6点未満に抑えて学校フェイズを終了させることができたので、「迎撃フェイズ」が決戦フェイズ前に発生します。他に質問がなければ、学校フェイズは終了して、自宅フェイズに入ります。

ひづみ 「連中は何故、地球を狙うんです？ まさか勇志くんを……特異者を狙って？」

GM・メルカ 「特異者のなかには、ガールイルの精神ハッキングをはねのける精神抗体をもった者が希にいるらしいのよ。評議会もずいぶん前から、地球の特異者には注目していたの」

ゼーダ だから特異者をどうにかしたかったってわけか。
GM では、自宅フェイズに移行します。

決戦前夜に

日の暮れた八咫野町に三人のゼノモーフは戻った。隠し場所に戻したゼノシップを、元通り高次空間に格納。何気ない顔で街を歩いて、居候している八咫野家に帰宅する。

八咫野邸は町外れにある切妻屋根の一軒家で、二階には三人のゼノモーフの個室もあり、居心地は悪くない。見た目にはごく普通の民家だ。

門をくぐると、庭に面したリビングの窓から温かな明かりが漏れているのが見えた。ひづみの肩に乗った猫型宇宙船がにやあ、と鳴く。食欲をそそる匂いがした。

GM 自宅フェイズを始めます。君たちは迎撃戦の前に自宅にもどり、勇志とお母さん浦穂と合流できた。

GM・勇志 「お姉ちゃんたち、どこにいったの？ 駅前のコンサートで変なことがあったっていうけど、また宇宙人絡みの事件なの？」

オボロ 「そうだ、勇志を狙っているかもしれない」

GM・浦穂 「今日は遅かったわね。夕食はハンバーグにしておいたわよ」といって皿をテーブルに並べている。

オボロ 「ハンバーグ！」涎だらあ。

ゼーダ ゼーダは機械生命体だけどハンバーグ食べるのかな？

GM ゼノスーツにより、地球の衣食住すべてに快適に対応していません。子作りもできるほどだから。

GM・勇志 「はわわ。お姉ちゃんたちにまた頼っちゃうね……。アンフェルさんの曲でもきいておちつこう」音楽プレイヤーを操作しようとしている(笑)。

ひづみ 触手を伸ばしてプレイヤーを取り上げよう。

GM・勇志 「ぎゃっ」

GM 浦穂は、ひづみをじっとみて、「また何か、厄介ごとみたいね」と、ため息をついている。

ひづみ 「気にしない気にしない。浦穂は安心して勇志君の側に居てあげて」

オボロ 「勇志よ、今は俺たちに頼ってもいい。だが、いずれは自分の力で戦え。お前はいずれ世界を助けるのだから」

ゼーダ 勇志にズイと自分の音楽プレイヤーを渡しつつ「私……の曲も、聴いて」

GM・勇志 「ありがとう。農協前で町のみんなを助けたのはこの曲なのかな。良い曲だね」

ゼーダ 「う。ありがとう」照れています。

GM・浦穂 「ありがとう、みんな。おかわりしていいからね！ 勇志と八咫野町を守ってあげてね！ わたしはこのあとちよっと、雑誌原稿の〆切が……」といって書齋に戻っていく浦穂であった。

ゼーダ 世界がヤバイのに締め切り優勢の心意気がプロですね。

GM というあたりで、自宅フェイズの交流判定です。文化3の判定に成功すると、特異者の好意をえられます。そのPCは、決戦フェイズで特異者を判定支援につかうと、+2の修正を得ることが出来ます。

オボロ 「勇志、食事が終わったら付き合え。鍛えてやる」

ゼーダ 文化1のキャラに文化3の判定を強いるGM。

GM・勇志 「うん、よろしく、オボロ」

オボロ 「お前はいずれ俺を倒さねばならない。期待しているぞ」
GM 特異者の「好意」は無理してとりにかくなくても、誰か一人高い人に決まるというだけなので。勇志がらみで戦闘中にロールプレイしたい人向けです。この特異者との交流判定をやる人が一人だけなら、クラッシュしない限り、自動的にそのPCが特異者の「好意」を獲得します。

オボロは特異者との交流判定に成功率1しか出せず、失敗。ゼーダは、先ほどの勇志少年の反応で満足しており、判定自体を行わなかった。

GM ゼーダ、大人っぽいすな。ここに来たばかりというのもありますしね。ひづみは交流判定はしますか？

ひづみ うーん。ちよっと考えてたんですけど、ひづみは勇志くん

単体というより、この特異者一族に恩を感じている気がするんですよ。勇志くんも勿論大事なんですけど。そんなに入れ込んでないというか、浦穂に対する感情と同じと言うか。なので、交流判定はしないでおこうかなと。

自宅フェイズでは、この他に武器等の調達判定も行うことができるが、今回は希望者なし。

GM では交流判定については、自動的に、勇志少年がオボロへ抱く感情が「好意」になりました。ちよつと視線が熱っぽい気がしますね（笑）。

オボロ 「どうした？ 熱か」と、額をくつつけてみる。

GM・勇志 「わあ！ オボロ姉、顔ちかいよ！ 僕だってもう中学生なんだからさ！」 ますます赤くなる。

ゼーダ おう（笑）

ひづみ なにこの空気（笑）

GM 夜寝る前に、二階の寝室でね。勇志くんがオボロに言うわけですよ

オボロ ふむ？

GM 「最近、凄く怖い夢を見るんだ。見たこともない都市の夢を。何度も何度も。人間が作ったものじゃない、どこか遠くの宇宙の、大昔の都市がはつきりみえるんだ」

オボロ 黙って続きを聞いている。

GM・勇志 「……オボロ姉。ずつとそばにいらって、約束してくれる？」と聞いて、少年はオボロの手をにぎり、そのまま布団の中で眠り込んでしまったようだ。

オボロ 「いいぞ勇志。竜を縛るとは、こういうことだ」興奮したので夜空を飛んで、体を冷ましてきます。

「やはり間違いない。有志は竜殺しだ、英雄だ。あつはははは！」と、星空に咆吼。がおー。

GM 幼なじみポジションな、ひづみはどうしてます？

ひづみ 居間で、お茶でもすすってます（笑）。

GM・浦穂 「はあー、ちよつと休憩。ひづみ、私にもお茶ちょうだい。ひと狩りする？」と、浦穂がリビングで、ゲーム機を持ち出す。

ゼーダ ガーライル属に関する知識を、育ての親である太った鳥型考古学者に、「銀河系人脈」として聞けますか？

GM ゼノシップの無線機を使えば、連絡はとれる。ゼーダの育ての親である鳥型異星人の学者が、通信モニターの向こうで言います。

「どうとうその秘密を掴んでしまったか、ゼーダザール」

ゼーダ 「アンフェルは……なんであんなに辛そうだったの？」

GM 「彼女もまた、古代より伝わるガーライルの因子をもつ者。どんな星の、どんな社会でも、それが受け入れられることはない。アンフェルはその力をバネにして、あそこまでのしあがったのだ。

だが、アンフェルの奥底にあるのは、それだけではない……」と、そこまで鳥型の科学者が語ったところで、警報とともに、ネコ型獣人の顔がウインドウごと割り込んでくる。

GM・メルカ 「敵電子戦艦のエンジン・シグネチャーを内惑星軌道で補足したわ。直ちに迎撃してください！」

ゼーダ 「ありがとう。行つてくるよ」

GM・鳥型学者 「同じマール共和同盟の者として、アンフェルの噂は我らにも届いている。無事をいのるぞ。ゼーダ」

GM 明け方の太陽をあびて、きみたちのゼノシップは、予測した迎撃ポイントへとびたつていく。それを地上から見守る、浦穂と勇志であった。

地球近傍宇宙域、迎撃フェイズ

GM 今回は迎撃フェイズが発生しています。いわばボーナス・ス

テージで、敵の生命点を、ゼノシップの兵装で、最大半分まで削ることが可能です。また、大型ボギーの部位データを知ることが出来ます。

君たちは、地球近傍の軌道で、レーダーに敵電子戦艦を補足した。ゼノシップの好きな兵装ひとつで攻撃し、ダメージ値を教えてください。敵は回避しません。射程は無視してよいです。

GM アラート値が6に達していると、この迎撃フェイズが発生せず、大型ボギーの部位もわからず、決戦で自衛隊が邪魔してくるこ
とになっていた。

オボロは空力戦闘機の短射程ミサイルを発射。

ゼーダのゼノシップはフレーム戦闘機なので、手持ち武装の対戦車ナイフで戦艦に斬りかかる。

ひづみは、宇津呂舟「外道丸」のレーザー機銃で射撃。

GM 宇宙空間を圧するような巨大な電子戦艦に、君たちのミサイルが、レーザー・パルスがふりそそぎ、爆発が花開く。そのなかをゼーダのフレーム戦闘機が進み、巨大な対戦車ナイフで敵の装甲をふつとばした！

オボロ 「挨拶がわりだ！受け取れよお！」

GM 敵戦艦は中破、それなりのダメージを負ったようすだ。どの部位が破壊されたかまではわからない。そのまま、敵戦艦は大気圏に突入し、八咫野町に着陸する。

大型ボギー「電子戦艦」の部位データが公開される。

固定武装「拡散粒子ビーム砲」

(射程2、ダメージ5+爆風。対空対地問わず攻撃可能)

部位1「ゼノハッキング・アンテナ」

精神攻撃。射程2〜3、精神ダメージ4+精神ダメージ爆風

生命10

被弾したキャラクターは文化値で対抗し、1レベル失敗で1ター
ン行動不能、2レベル失敗すると味方を攻撃してしまう。

ラウンド終了時に自動的に解除される。

部位2「近接防衛機関砲」

射程0、ダメージ4、連射。弾切れなし。生命10

電子戦艦を撃破せよ

ねじくれた異形の艦型をもつ電子戦艦が、降着装置を展開し、八咫野町に軟着陸した。高々と、噴煙と建物の破片が吹き上がる。地響きが田園と住宅街を揺るがす。

巨大な機械の竜をおもわせる戦艦だ。高層ビルほどの大きさがあり、のどかな田舎町には似合わない。

黒々とした複雑な形の装甲から瓦礫をはらいおとしたそれは、格闘用アームを左右に突き出し、機械の頸をひらいて咆吼した。

各部から巨大なアンテナが伸展される。

人々の悲鳴はない。

迎撃戦が予想されたこの日、あらかじめ知性化評議会の広域心理操作により、町の住人は一人残らず町の外に出かけていたからである。

三人のゼノモーフは、ゼノシップから降り立ち、武器を手にとつた。少女たちは顔を上げ、田畑に林立する鉄塔よりさらに巨大な異形の宇宙戦艦を睨む。

GM 決戦フェイズを始めます。地元以降ろしたくない場合は、ランダムで戦場を選んでいいんですが、不利な戦場修正がPCに入ることあります。デフォルトなら決戦の場は地元になります。ボギーの戦力は強大であり、地球人に隠れねばならないメンターたち

に有利な戦場をえらぶことは難しい。

イニシアティブはゼーダが獲得。ボギー側は後攻となった。決戦フェイズなので、戦場マップを使用する。

GM ボギー側の配置と戦術を聞いた後で、皆さんは自陣の好きなところにPCのアイコンを配置してください。但し、敵エリアには配置できません。

GM マップは6エリアの一次元マップで、真ん中から敵陣、自陣に別れています。開戦後は敵陣に入っても構いません。前線に近いエリアから、それぞれ前方・主要・後方と呼ばれます。

1エリアが射程単位1つ分です。で、射程2の武器は、射程1や0距離の目標は撃てないので、接近しすぎにも注意。移動については、飛行すると主動作1消費で2エリア移動できる。徒歩なら1エリアのみ。

GM 敵電子戦艦は、中距離を維持しつつ射撃してくるようです。

初期配置は、オポロとひづみが自陣前方エリアに、ゼーダが主要エリアに。敵・電子戦艦は、敵陣の主要エリアに布陣した。

砲戦を得意とするだろう敵艦に対し、白兵戦を得意とするオポロがいかに敵に肉迫するか、またその際にゼーダの砲撃に巻き込まないかが焦点となりそうだ。

ゼーダ 「近接戦闘は皆さんに任せます。砲撃します！」と言って「準備砲撃」を発動です。エリア内の全域に攻撃可能です。

GM 攻撃判定どうぞ。

ゼーダ 2D+爆風ダメージを自動成功で目標に与えます。(ダイスを振って)6点の爆風ダメージです。部位1、ゼノハッキング・アンテナを狙う。

GM アンフェルの画像がゼーダの視界にうつる。「ゼーダ。あなた

もこちらにくるのよ！ 貴方にはその素質がある！ 守りたいものなんてないでしょう、われらガーライルの末裔には！」

ゼーダ 「アンフェル。届いて」

「準備砲撃」は機械型ゼノジーンの種類で、イニシアティブ判定に成功した際に敵エリア全域に砲弾の雨を降らせる強力な効果をもつ。

少女の周囲の空間が歪み、高次空間から、巨大なプラズマ榴弾砲や迫撃砲が次々に実体化し、大地に固定された。轟音が立て続けに炸裂し、猛烈な砲炎と爆風とともに、空に向けて砲弾が次々に放たれていく。

数瞬の間。空から砲弾が降り注ぎ、敵戦艦のいる町の一区画を、着弾の爆発炎に包み込んでいった。

GM 爆風により、大型ボギーの全部位に、直撃ダメージの半分のダメージを与える。アンテナに6、ほかの全部位に3点のダメージ。砲弾が天空からふりそそぎ、戦艦を爆発の嵐がおおいつくした！
機械型ならではの弾幕射撃だ！

ゼーダ 生命点が一気に5点も減りますけどね。

「二人とも。頼みます」

GMアンフェル 「この戦艦の特性を見抜いているのだと！ やるわね、ゼーダ。アイドルはそうじゃなくちゃね！」

それはアイドルの特性とは無関係な気がする。

オポロ 移動して攻撃って出来ますか？

GM 普通は移動で1主動作を消費して終わりですが。XGを一点消費すると、複数行動できるので、その場合には移動と攻撃が1ラウンドでできます。

GM 戦闘は、補助動作と、主動作が1回に可能で、補助動作で離

陸できます。判定は主動作を消費します。

オボロはXGを一点消費、敵戦艦に接近し、短プラズマ砲を撃つ。

オボロ XGを消費して、移動後に短プラズマ砲を射撃。ボギーのアンテナを狙う。

射撃の結果は2レベル成功、ダメージ5+2。

GM 自動車ほどもある巨大なプラズマ砲を高次空間から実体化させ、竜娘が射撃。戦艦のアンテナはすでにぼろぼろだ！

ひづみ 移動して、「恐怖の雲」を散布します。自動成功するはず。

GM ひづみが移動する前のエリアが煙幕におおわれて、敵の射撃が命中しづらくなった。ゼーダのいるエリアを覆った。

ゼーダ ナイス補助です。「ひづみ。ありがとう」

ひづみ 「ゼーダちゃんの歌が銀河に轟くその日まで、死なれちゃ困るからねー」

GM 「恐怖の雲」の効果時間は、戦闘終了までとしておく。

GM では電子戦艦の攻撃だ。

GM ダイス合計 12 (2D6 = [6(6)])

ゼーダ 6ゾロ！

GM いや、自動成功は出目6のダイスが3個以上の場合です。

戦艦のハッキング・アンテナから、主要エリアに強力な精神波が飛んだ。精神攻撃なので、ゼーダは、文化値で抵抗を試みて下さい。

GM キミは回避できなかった。文化で対抗判定してください

抵抗には失敗したものの、ゼーダはXGを投入し、大失敗は防いだ。強烈な精神攻撃を受け、1ターン行動不能となってしまふ。

GMアンテナ 「そうよ、そのまま貴方もこちら側にくるのよ」

ゼーダ 「あああああ」ガールイルの記憶が駆け巡っている。

次のオボロの射撃で、ボギーのアンテナが破壊される。

オボロ 「まだ倒れてくれるなよ。ケジメはすんでないからな」クックック、と嗤う。

ひづみ 必然、部位を狙うことになりませんか

GM ここで、「チーム攻撃」をお勧めします。あるPCが攻撃に成功したら、そのPCにプラス属性の感情をもっているPCも全員、攻撃を自動命中させることができる。一人あたり、最初に攻撃したPCに対する感情レベル×1Dの追加ダメージも入ります。サンバルカンボールみたいな必殺技と思って下さい。

やや例えが古いのではないかな。

ひづみ なるほど。レーザー機銃よりダメージが大きいので、触腕で殴りますかな。それをチーム攻撃の初撃にしようかと。

GM ひづみにマイナス感情持つてる人はいるかな？

オボロ オボロは、仲間にマイナス感情しか持ってない(笑)。

GM オボロがチーム攻撃の初撃をやるといいかもしれない。

ひづみ この場合、オボロさんが攻撃成功したら、オボロさんに対してプラス属性の感情をもっているひづみもコンボを決められるってことですね。

オボロ 次はチーム攻撃を狙ってみます。

ゼーダ アンテナ壊れてるからゼーダも参加出来るんですよね？

GM アンテナもこわれたので効果解除

GM 武器の射程は適用されるのでご注意

ひづみ では通常の攻撃として、触腕攻撃を。自動命中します。

戦艦の機関砲が破壊された。アンフェルは精神ダメージを受け、動揺している。「くうっ、わたしをそちらに引き込もうというの?」

GM 電子戦艦の番ですね。1エリア移動して行動終了。敵前方エリアへ。ゼーダを白兵攻撃するつもりようだ。

ゼーダ GM、質問です。「軌道砲撃要請」をした場合、いま敵エリアにいるオポロとひづみにもダメージが入りますか?

GM はい。敵エリアの全キヤラクターに自動命中です。

ゼーダ じゃあ軌道砲撃はできないな……例えばボギーが「前方エリア」に入ってきて、仲間の二人が敵エリアにいる状態で「軌道砲撃要請」した場合には、ボギーだけに当たりますか?

GM 射程が「敵エリア全て」なので、ボギーが味方前方エリアに入ったら、ボギーには当たれません。その場合、いま敵エリアにいる味方だけに当たります(笑)。

ゼーダ なるほど。では、胸部装甲を開放して「召喚式40センチ連装砲」で撃ちます。斉射モード。

ゼーダは、高次空間から教階建てのビルほどもある連装砲を召喚する。大出力の電磁レールガンである。圧倒的な運動エネルギー弾で目標を粉碎するのだ。ただし、極超音速で巨大砲弾を連射するため発射時の爆風も凄まじく、射手の周りにある木造家屋などはバラバラに吹き飛ばす。

GM 召喚式40センチ砲は、補助動作で「斉射」を宣言すると、攻撃判定+1、さらにダメージ倍加の効果を得ます。ただし再装填に2主動作を消費する。

判定の結果、ゼーダは2レベル成功。さらに斉射の効果を得て、

合計14ダメージをたたき出す。

GM 巨大な連装40センチ砲が、ゼーダのまわりの高次空間から実体化。巨大な爆発炎でまわりの家屋をふきとばして、合計9トンにも達する巨大砲弾が立て続けに斉射され、敵戦艦を打ち砕く!かなりの損害を与えたようだ。爆発がいくつも巻き起こる。

GM 凄絶な発射爆風のため、キミのいる地点はクレーターになった。敵戦艦は大破し、機能停止寸前だ。

オポロ では、チーム攻撃を!

ゼーダ オポロさん決めてください。

GM・アンフェル 「なぜ、なぜなの。私の計算は完璧だったはず……」

オポロ 「お前に勇志を渡すわけにはいかない。あれは俺のものだ!」

GM いいですね。特異者をロールプレイにからめたので、判定+2のボーナスです。あとオポロの「過去」なども、この際加算してはどうでしょうか?

オポロ では、過去に災害のように暴れまわり、とても満たされた気持ちで封印されたことを思い出す。

GM 恋愛感情とかじゃないのがオポロらしくて良いな(笑)。さらに修正+1です。

オポロ そうだ、まだPCの判定支援枠が残っていました。これも使っちゃおう。

「ひづみ、ゼーダ。俺に力を貸してくれ。あの紛い物を粉碎してやる!」

ゼーダ 了解。「オポロ。貴方のまっすぐな気持ちで、アンフェルを目覚めさせて!」

ひづみ 了解です。「勇志君を、浦穂ちゃんを護ろう!」

オポロ これで、合計八個、ダイスをふれる。

GM どうぞ。

オポロ 8d6

DiceBot (8D6) → 23[1.1.5.5.3.6.1.1] → 23

GM ボギーの回避は……ダイス合計 7 (2D6 = [1 6])

GM オポロが2レベル成功でチーム攻撃の初撃を命中させた。

基本ダメージ+2。爪で殴ったから5ダメージですね。

オポロ 「竜の爪だ。よおく味わえ！」

GM あとは二人が、好きな追加攻撃を自動命中させることができる。さらに、二人がオポロに抱いている感情レベル分のダイス個数に等しい追加ダメージが入ります。

ひづみ 短プラズマ砲を……と思ったら、射程1だから今は撃てない。じゃあ触手しかない。8点と精神ダメージ3点です。

ゼーダ 連装砲はリロード中だし、それ以外に射程1の武器を持っていないので、攻撃できません。遠目に、オポロとひづみがアンフェルの乗る戦艦を殴り倒しているのを眺めています。

「ありがとう。二人とも」

GM おお、ちょうどボギーの生命点が0になった。

GM アンフェルの電子戦艦は、きみたち三人の強力な連続攻撃を受け、ついに爆発四散した。反応炉が誘爆し、巻き起こる巨大な黒い爆発雲！

GM・アンフェル 「ゼーダ、すばらしい仲間を手に入れたみたいね……でも、これで終わりじゃないわ」

ゼーダ あら？

GM 崩れ去った敵艦の内部から、ゼノハッキング・アンテナの大型版が展開され、光りかがやきはじめた。

「この列島全域の地球人を『覚醒』させてあげる……！」

GM・? 「まって！ もうひづみやオポロ姉たちをいじめないで！」

オポロ なんだかわからんが、ヤバそうなので止めたい。

GM 勇志が、廃墟となった町をよこぎって飛び込んできた。

ゼーダ 「え？ 勇志！」

GM 勇志の全身から、青白い神秘的な光が放たれて、電子戦艦をつつみこむ。すると、電子戦艦のアンテナは、今度こそ機能を停止。ばちばちと火花を散らして崩れ落ち、完全な残骸となった。

オポロ 「勇志か……」

GM 爆発のなか、アンフェルが六枚の翼を広げ、上空へ離脱。

ひづみ 「勇志君？」

ゼーダ 「何が起きたの？」

GM・アンフェル 「収穫はあったわ。やはり、対ガール精神抗体をもつ者は、この町にいた！ 記憶したわ！」 大気圏外へ飛び去っていく。そして彼女の後を追うように、朝日が昇り、街の廃墟を照らし上げる。というところで決戦は終わりです。おつかれさまです。

ひづみ おおー。

GM では各人のエンディングを演出しましょう。

それぞれの想い

GM ではまず、オポロから。何か希望があれば言ってください。

オポロ 光ったあとの勇志は普通になっているんですか？

GM 勇志少年は、戦闘終了直後、そのまま気絶して、地面に横たわっている。怪我はしていない。ただ、この町全体にかかっている

はずの、評議会の心理操作フィールドを無効化して交戦エリアに入ってきたということは、勇志はただの地球人ではない。勇志の秘密

「知性化評議会の秘密を知っている」は、そういうことですね。

オポロ じゃあ介抱します。それはもう誇らしそうに喜ばしく。

GM 勇志はオポロに助け起こされて、うっすらと目をあける。

「お姉ちゃん？ 地球を守ってくれて、ありがとう」といって、また

気を失う。

オポロ 「勇志、俺たちを守ったのはお前だ。いかな、この程度

のことで毎回倒れていては、英雄は務まらない。だが今回は、よくやった。ゆつくり休め……その間は俺が守ってやる」

GM・勇志 「オポロ姉のことは、まだよく知らないけど……きつと敵しい戦いをくぐりぬけてきたんだね。うん、ぼくも頑張るよ」

少年は微笑んでいる。その面は朝日にてらされて輝いていた

ゼーダ ゼーダはやつと動けるようになった後、ヨロヨロと壊れたアンテナに向かいます。

GM ほうほう。

ゼーダ アンテナに手を添えたあと、アンフェルが去った空を見上げて、

「アンフェル。昔の貴方はもつとキラキラしてた。アイドルは泣いてちやだめ。笑ってなくちや。私が笑顔を取りもどしてあげる」

ゼーダ そう言ってゼーダの場面はフェードアウトです。

ひづみ 「勇志君が『当たり』かあ。こりや浦穂ちゃんも大変だね。まったく、恩返しし甲斐がある一族だよ」

GM オポロと、勇志の争奪戦をしたりはしないんだ。

ゼーダ ゼーダは勇志とは少し距離を置くイメージで、争奪戦にはあまり関わらないです。

ひづみ 争奪戦はないですねー。勇志君に対して強い個人的感情は抱いてないみたいで。一族全体の守護者のポジションみたいな。

GM・勇志 「ひづみ姉……ちゃん……ありがとう」

かすかに、勇志がひづみの名を呼んだ気がした。

ひづみ 勿論、勇志君を護りたいという思いはありますけどね。ちよつと引いた視点になつてるといふか。

GM 朝日の中、残骸にくすぶる煙のむこうで、三人のゼノモーフと、一人の特異者の姿を見下ろす視点でカメラがフェードアウト。と言う辺りで終わりにしましょう。

残骸の片付けや町の修復は、評議会の部隊がナノマシンやらを投入して完璧にやってくれる。そのあと市民たちが、心理操作を解かれて日常にもどってきます。

オポロ 勇志君に積極的なのはオポロだけか。

GM ちよつと意外。パーティーによつては、文字通りハーレム展開になることもあるので（笑）。

GM オポロの感情は恋愛感情ですか？

オポロ 恋愛なのかなあ。愛してるけど恋愛ではないかもしれませんが。本能？

ゼーダ ゼーダも勇志君には興味あるけど、ガーライルの眷属として、一連の騒動から「守護したい」と思っています。

GM アンフェル一派としては、精神攻撃を無効化する勇志くんは計画の邪魔なので、潰しておきたいところでしょうね。

では第一話、終了です。ご参加ありがとうございました！

人事評価（経験点）は、基本10、目的達成10点が全員に入ります。さらに良いロールプレイで追加があります。

ゼーダさんはアンフェルとのやりとり、ガーライル因子を背負う者としてのロールが大変良かったですね。よいロールプレイをした+5です。

ひづみさんは、一族を見守る大妖怪らしいポジションの建て方が老成していて、印象的でした。技能の使い方もテクニカルで老成している感じでした。よいロールプレイをした+5です

オポロさんは、暴れん坊の宇宙海賊娘でありながら、勇志を熱烈に見守るロールが素敵でした。やはりひとりには恋愛？ 担当がいるとライトノベルっぽくて良いですね。よいロールプレイをした+5です。

一同 ありがとうございます。

GM で、みなさん全員各自に、セッション進行を助けたで、各自+5です。あと、勇志の好意をえたので、オポロだけさらに+5点が追加されます。人事評価点は以上です。次回もよろしくお願いますね。

ANU

